

## 葉山町の令和4年度予算が決まりました

令和4年第1回定例会が2月10日から3月17日まで開かれ、令和4年度予算が可決成立しました。3月15日の本会議で、子育て・教育政策への取り組みや消防団員の処遇改善などを評価して賛成討論を行いました。クリーンセンター再整備事業と中学校給食センターについては気懸かりな点が多く、慎重に進めるよう求めました。

3月17日に行った一般質問の概要を報告します。

### 《地球温暖化について》

気象災害の激甚化や干ばつによる小麦の不作など、地球温暖化の脅威は既に現実のものとなっています。国家レベルの対策が基本的に重要ですが、地方行政も私たち自身もできることをやらなければ進捗を抑えられません。町長の認識を問うたところ、危機感を持っており温暖化抑止に覚悟をもって臨むとの答弁がありました。

### 《強靱なまちづくり》

葉山町を取り巻く状況は、温暖化だけでなく、人口減少やいつ起きてもおかしくない大地震など、不安がいっぱいです。ウクライナ侵攻のような生命財産を脅かす出来事がいつ起こるかも知れません。葉山がいつまでも活気のある町でいられるためにどうしたらいいか。次の5つの提案をしました。

- ① できるだけ地域で回る経済をめざす
- ② 葉山らしい農業の形をつくる
- ③ 町の活性化の視点からの公共交通計画の策定
- ④ 町にとって負担以上の町税収入が期待できる  
保育園の整備
- ⑤ 町の象徴となるような拠点施設の建設

葉山には大規模商業施設がありません。東京・横浜・横須賀等の隣接する大都市への通勤・通学者が多い葉山町民の町内消費を増やすことは、水の流に逆らうようなもので難しいですが、大地震等の災害やこれからの食料の価格高騰・不足に備えて少しでも町内の商工業の力を強め、町内の農業生産力を高めておくことが大事です。限られた農地を活かした、多様な主体による葉山らしい農業を創り出す工

夫も必要です。町民も安い・便利だけで消費行動をするのではなく、地域の仲間でもある商工事業者と共に生きる意識が必要です。支え合いの地域づくりです。

町では公共交通のあり方の検討を始めていますが、交通不便地域の解消だけでなく、町の活性化につながる町民の流れを生み出せるような都市計画の視点も必要です。

保育園が整備されている町は、働くお母さんお父さんにとって大きな魅力です。共働きの若い人たちに葉山に定住してもらえれば、その後数十年にわたって夫婦で町税を納め町内で消費してくれます。人口が維持できるばかりでなく、税収の増加と町内商工業の強化につながります。

議会では、町民体育館を望む声が上がっています。南郷上ノ山公園をもっと良くしたいという声もあります。いつか必ずやってくる大災害の時に、基幹的な避難所としても利用できる複合的な施設を、100周年記念事業として建設したらどうかと提案しました。

日本の経済も葉山町の財政も今後厳しい時代を迎えると懸念していますが、町の元気を生み出すための攻めの施策も必要だと思います。皆さんはどうお考えですか。

### 《町民相談事業》

『広報葉山』の相談事業案内に、生活困窮者相談がありません。貧困は人権問題といわれていますが、人権相談の対象から貧困が除かれているような記載になっています。

葉山は、土地柄から生活に困窮している人が声を上げにくいといわれています。この相談窓口の必要については再三質問してきました。ようやく、広報葉山4月号に「生活の不安やお困りごとの相談」が加わりました。🍷

## 日本からウクライナ侵攻を考える…

悲惨、残虐、理不尽、人間の恐ろしさと弱さ、無力感。言葉では言い尽くせない、ウクライナの人たちが遭遇している現実。一国の指導者の野心で、いとも簡単に大勢の人の命が奪われ日常が破壊されてしまう21世紀の紛れもない事実。

これは、日本人にとって決して他人事ではありません。今のロシア国民の置かれた状況が、80年ほど前の私たち日本国民の姿に重なります。動静が気懸かりなアジアにおける台湾と中国の関係は、ウクライナ侵攻の展開次第では他人事でなくなる恐れがあります。原油や小麦の価格が上昇しています。エネルギー自給率11%、食料自給率37%の日本にとって企業活動や生活の基盤を脅かす問題になりかねません。わが国は、出口がないと指摘されてきた異次元の金融緩和政策を継続していますが、インフレの進行を懸念するアメリカの利上げを受けて、円安が進んでいます。石油をはじめ資源や原材料の高騰による企業経営の圧迫と食料品の値上げが始まっており、今後の動向が非常に心配です。

プーチンを支持し大統領に選んだロシア国民は、ウクライナに対して戦争犯罪ともいわれる加害の側に立っています。事実を知らされていないとはいえ、プロパガンダの効果で80%を超えるロシア国民が、プーチンを支持しているということです。そして、ウクライナで行われている破壊と殺戮は、ロシア国民の手によって実行されています。プーチンを支持し、ウクライ

ナ侵攻を是としているロシア国民の責任は、事実を知らされていないという理由で免れることができるのでしょうか。

私たちは、国の指導者を選ぶ自らの責任の重さについて、自分事として考える機会を与えてもらいました。そして、直接支援に参加することはできませんが、ウクライナの人たちの苦しみと無念を受け止め向き合うことを通して、未来永劫に渡ってこうしたことを起こさないと決意することが求められているのではないのでしょうか。

国を守るという理由で、国民の死と国土の破壊をもたらず戦争を起こす「国」。国民に命をかけてまで守ろうとさせる「国」。国とは何か。少なくとも、国民一人ひとりの命よりも国の存続に価値を認めようとする指導者を選ぶようなことがあってはなりません。見極める感性を磨いておくことが、民主主義の社会に生きる私たちの務めであり責任だと思えます。

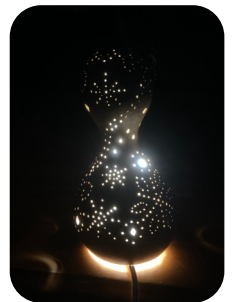
この原稿を書いているとき、NHKスペシャルで「忘れられゆく戦場 ～ミャンマー 泥沼の内戦～」を放映していました。番組の中で、日本在住のミャンマー人が、世界から忘れ去られるのが怖いとっていました。私たちのウクライナ侵攻への関心の深さとの温度差が気になります。



### コロナ禍と上手につき合う!

第6波はいつ収束するのか。第7波は来るのか。いずれにしても、withコロナの日常が続くそうです。afterコロナの日常は、高齢の私にはもう訪れないかも知れません。

小中学生・高校生・大学生、家庭や社会で子育てや仕事を頑張っている人たち、現役を退いた高齢者、病や高齢などのため支援が必要な人たち。それぞれに様々なコロナ禍による生活上の支障が出ていることと思いますが、孤立厳禁!、周りの人たちと良い距離感を保ちながら乗り切りましょう。🍀



#### 中村かずお プロフィール

葉山町議会議員 1942年生まれ 横浜国大経卒  
元 横浜市理事・横浜市福祉サービス協会専務理事 元 葉山町町内会連合会長  
元 葉桜自治会長 現 社会福祉法人であいの会理事長・葉桜自治会会計担当

連絡先: 〒240-0113 葉山町長柄1617-12 TEL/FAX 046-875-6925  
Email: 170202kn@ozzio.jp URL: <https://www.nakamurakazuo.com/>

**立憲民主党**  
The Constitutional Democratic Party of Japan

